



## 2022年5月期 決算短信〔日本基準〕（連結）

2022年7月14日  
上場取引所 東

上場会社名 株式会社ニイタカ  
 コード番号 4465 URL <https://www.niitaka.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 奥山 吉昭  
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 管理本部長 (氏名) 加藤 貴志 TEL 06 (6391) 3266  
 定時株主総会開催予定日 2022年9月22日 配当支払開始予定日 2022年8月12日  
 有価証券報告書提出予定日 2022年8月26日  
 決算補足説明資料作成の有無： 無  
 決算説明会開催の有無： 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年5月期の連結業績（2021年6月1日～2022年5月31日）

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期	17,792	△3.5	1,825	△25.5	1,855	△24.7	1,231	76.6
2021年5月期	18,436	4.0	2,448	51.4	2,465	56.9	697	△34.1

(注) 包括利益 2022年5月期 1,390百万円 (56.9%) 2021年5月期 886百万円 (△11.9%)

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益	自己資本 当期純利益率	総資産 経常利益率	売上高 営業利益率
	円 銭	円 銭	%	%	%
2022年5月期	208.59	—	10.3	9.0	10.3
2021年5月期	118.11	—	6.4	12.9	13.3

(参考) 持分法投資損益 2022年5月期 一百万円 2021年5月期 一百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期	20,796	12,524	60.2	2,121.49
2021年5月期	20,468	11,292	55.2	1,912.90

(参考) 自己資本 2022年5月期 12,524百万円 2021年5月期 11,292百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動による キャッシュ・フロー	投資活動による キャッシュ・フロー	財務活動による キャッシュ・フロー	現金及び現金同等物 期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年5月期	1,586	△615	△788	6,057
2021年5月期	2,718	△1,081	1,727	5,753

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産配当 率(連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年5月期	—	13.00	—	13.00	26.00	153	22.0	1.4
2022年5月期	—	14.00	—	14.00	28.00	165	13.4	1.4
2023年5月期(予想)	—	32.00	—	32.00	64.00		30.5	

### 3. 2023年5月期の連結業績予想（2022年6月1日～2023年5月31日）

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	19,500	9.6	1,850	1.4	1,860	0.2	1,240	0.7	210.05

※ 注記事項

(1) 期中における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 有  
 ② ①以外の会計方針の変更： 無  
 ③ 会計上の見積りの変更： 無  
 ④ 修正再表示： 無

(注) 詳細は、添付資料「3. 連結財務諸表及び主な注記 (5) 連結財務諸表に関する注記事項」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

- ① 期末発行済株式数（自己株式を含む）  
 ② 期末自己株式数  
 ③ 期中平均株式数

2022年5月期	5,943,052株	2021年5月期	5,943,052株
2022年5月期	39,592株	2021年5月期	39,486株
2022年5月期	5,903,514株	2021年5月期	5,903,566株

(参考) 個別業績の概要

2022年5月期の個別業績（2021年6月1日～2022年5月31日）

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年5月期	16,867	△0.7	1,735	△16.0	1,774	△23.8	1,171	63.6
2021年5月期	16,993	2.8	2,065	50.3	2,330	75.2	715	△20.6

	1株当たり 当期純利益	潜在株式調整後 1株当たり当期純利益
	円 銭	円 銭
2022年5月期	198.41	—
2021年5月期	121.28	—

(2) 個別財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年5月期	19,557	11,725	60.0	1,986.14
2021年5月期	19,319	10,745	55.6	1,820.18

(参考) 自己資本 2022年5月期 11,725百万円 2021年5月期 10,745百万円

※ 決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項については、添付資料「1. 経営成績等の概況 (4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
(5) 利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当 .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	12
(1株当たり情報) .....	13
(重要な後発事象) .....	13

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症流行により経済活動が制限されるなか、ワクチン接種促進を受け、経済活動の持ち直しの動きがありました。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症流行による消費マインドの低下、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰、中国における経済活動の抑制など、依然として先行き不透明な状況が続きました。

当社グループの主要顧客である飲食店や宿泊施設は、酒類提供制限、営業時間短縮等、繰り返し営業活動への大きな制約を受けましたが、まん延防止等重点措置の解除に伴い2022年4月以降客数の持ち直しの兆しが見られました。

当社グループは、引き続き感染予防の組織的取り組みを実施しつつ、売上確保に努めてまいりました。飲食店や宿泊施設向けの洗剤洗浄剤及び固形燃料等においては、感染対策用製品を中心に販売活動を積極的に推進し、売上は増加いたしました。

アルコール製剤は、新型コロナウイルス感染症流行により急速に拡大した需要の反動があり、売上は減少いたしました。新規チャネル開拓が進み、新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、一定の伸びを維持しました。

これにより、当連結会計年度の売上高は、177億9千2百万円（前期比 3.5%減）となりました。

利益につきましては、原材料価格高騰の影響を大きく受け、営業利益18億2千5百万円（同 25.5%減）、経常利益18億5千5百万円（同 24.7%減）となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、12億3千1百万円（同 76.6%増）となりました。

当社グループは、業務用の化成品事業を行っており、単一セグメントであるため、セグメント別の情報はありません。当社グループ製造品及び仕入商品等の売上高は、次のとおりであります。

#### <当社グループ製造品>（業務用洗剤・洗浄剤・除菌剤・漂白剤・固形燃料等）

アルコール製剤は、新型コロナウイルス感染症流行により急速に拡大した需要の反動があり売上は減少いたしました。官公庁やレジャー施設などへの新規チャネル開拓が進み、新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、一定の伸びを維持しました。

飲食店や宿泊施設向けの洗剤洗浄剤及び固形燃料等においては、「ノロスターVGクリーナー」「ノロスタートイレクリーナー」など感染対策用新製品、「ケミファインクイックすすぎ」など高付加価値製品を中心に顧客のニーズに沿った製品・サービスの提案を行った結果、売上は増加いたしました。

その結果、当連結会計年度の当社グループ製造品売上高は、142億4千5百万円（前期比 5.0%減）となりました。

#### <仕入商品等>

当連結会計年度の売上高は、35億4千6百万円（同 3.0%増）となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### ①資産、負債及び純資産の状況

	前期	当期	増減
総資産（百万円）	20,468	20,796	327
純資産（百万円）	11,292	12,524	1,231
自己資本比率	55.2%	60.2%	5.0p
1株当たり純資産（円）	1,912.90	2,121.49	208.59

前連結会計年度末と比較して総資産は3億2千7百万円増加し、純資産は12億3千1百万円増加しました。この結果、自己資本比率は5.0ポイント増加し60.2%となりました。増減の主なもの次のとおりであります。

流動資産では、現金及び預金が3億3百万円、受取手形及び売掛金が3億3千2百万円それぞれ増加しております。

固定資産では、建設仮勘定が2億5千万円増加し、建物及び構築物が1億6千2百万円、機械装置及び運搬具が1億1千5百万円、ソフトウェアが1億4百万円それぞれ減少しております。

流動負債では、支払手形及び買掛金が2億3千9百万円増加し、未払金が2億2千7百万円、未払法人税等が2億5千6百万円、流動負債その他が2億3千1百万円それぞれ減少しております。

固定負債では、長期借入金が7億6千6百万円減少しております。

## (3)当期のキャッシュ・フローの概況

(百万円)

	前期	当期	増減
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,718	1,586	△1,131
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,081	△615	465
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,727	△788	△2,516
現金及び現金同等物の増減	3,459	303	△3,156
現金及び現金同等物の期末残高	5,753	6,057	303

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下、資金といいます。）の期末残高は、前年同期より3億3百万円増加し、60億5千7百万円となりました。主な内訳は次のとおりであります。

## (営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、15億8千6百万円（前期比41.6%減）となりました。主には税金等調整前当期純利益が18億8百万円、減価償却費が6億1千7百万円あった一方で、法人税等の支払額が7億9千8百万円あったことなどによるものです。

## (投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、6億1千5百万円（前期比43.1%減）となりました。主には有形固定資産の取得による支出が6億1千3百万円あったことなどによるものです。

## (財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、7億8千8百万円（前期は17億2千7百万円の収入）となりました。主には長期借入金の返済による支出が6億2千5百万円、配当金の支払額が1億5千9百万円あったことなどによるものです。

## (参考) キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年5月期	2019年5月期	2020年5月期	2021年5月期	2022年5月期
自己資本比率 (%)	56.4	56.8	59.4	55.2	60.2
時価ベースの自己資本比率 (%)	65.2	49.3	121.7	76.4	62.2
キャッシュ・フロー対有利子負債比率 (年)	1.6	1.8	1.1	1.4	1.9
インタレスト・カバレッジ・レシオ (倍)	106.8	126.3	177.8	211.7	152.1

1. 自己資本比率：自己資本/総資産
2. 時価ベースの自己資本比率：株式時価総額/総資産
3. キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債/営業キャッシュ・フロー
4. インタレスト・カバレッジ・レシオ：営業キャッシュ・フロー/利払い

(注) 1. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により計算しております。

2. 有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては連結キャッシュ・フロー計算書の利息の支払額を使用しております。

(4)今後の見通し

今後の見通しにつきましては、新型コロナウイルス感染症流行による影響が、不透明な状況ではありますが、政府による経済対策により景気の持ち直しが期待されます。

しかしながら、地政学的リスクの高まりによる原材料価格の高騰等、当社を取り巻く事業環境は未だ予断を許さない状況です。

このような状況下、当社は新型コロナウイルス感染症の収束やさらなる原材料価格の高騰など予想される外部環境変化に対応した経営戦略の更新を適宜行ってまいります。

当社グループの主な顧客である飲食店や宿泊施設の稼働において、新型コロナウイルス感染症の影響が続くものの、政府主導による全国を対象とした観光需要喚起策などによって徐々に回復すると見込んでいます。

また、アルコール製剤は新規チャネル開拓が進み、新型コロナウイルス感染症流行前と比較し、一定の伸びを維持すると見込んでいます。

以上の前提にしたがって検討した結果、連結業績予想値は、売上高195億円（前期比 9.6%増）と予想しております。

利益に関しましては、上記の売上高予想をもとに、営業利益18億5千万円（同 1.4%増）、経常利益18億6千万円（同0.2%増）、親会社株主に帰属する当期純利益12億4千万円（同 0.7%増）と予想しております。

引き続きアルコール製剤は一定の伸びを維持、利益をけん引しますが、原材料価格の高騰により、利益率の低下が想定されます。

そのため、洗剤洗浄剤及び固形燃料等の販売拡大に加え、製品価格の適正化、コストの削減等に取り組み、影響の最小化に努めてまいります。

なお、今後の新型コロナウイルス感染症の状況や地政学的リスクの高まりにより、予想の前提と異なった状況が生まれ、当社グループの業績に影響を及ぼす可能性があります。

(5)利益配分に関する基本方針及び当期・次期の配当

当社は利益配分に関する基本方針を変更し、将来の企業価値を高める事業戦略に必要な内部留保を確保しつつ、連結配当性向30%以上もしくは株主資本配当率（DOE）2%のいずれか高い金額を目安に配当を継続的に実施することといたしました。

当期の配当金につきましては、期末は1株当たり14円とし、通期で1株当たり28円を予定しております。

また、次期配当金につきましては、基本方針の変更により、中間配当金32円、期末配当金32円とし、年間配当金64円を予定しております。

株主の皆様に対する利益還元を図ることにより当社株式の市場価値を高めてまいります。

2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、現在日本国内での活動が主であることから、当面は日本基準を採用することとしておりますが、国内他社のIFRS採用動向を踏まえつつ、IFRS適用の検討を進めていく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当連結会計年度 (2022年5月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	5,753,847	6,057,120
受取手形及び売掛金	2,583,920	2,916,729
電子記録債権	1,045,536	1,108,249
商品及び製品	943,584	858,442
仕掛品	28,651	34,054
原材料及び貯蔵品	537,031	526,452
その他	60,016	108,097
貸倒引当金	△4,033	△4,825
流動資産合計	10,948,553	11,604,321
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	8,124,088	8,152,352
減価償却累計額	△4,740,254	△4,931,183
建物及び構築物(純額)	3,383,834	3,221,169
機械装置及び運搬具	6,705,509	6,855,330
減価償却累計額	△5,716,328	△5,981,506
機械装置及び運搬具(純額)	989,180	873,824
工具、器具及び備品	819,519	829,772
減価償却累計額	△643,914	△712,953
工具、器具及び備品(純額)	175,604	116,819
土地	3,016,850	2,996,507
リース資産	52,429	30,063
減価償却累計額	△36,096	△17,366
リース資産(純額)	16,333	12,697
建設仮勘定	36,430	286,924
その他	6,026	6,026
有形固定資産合計	7,624,259	7,513,969
無形固定資産		
ソフトウェア	294,532	190,248
ソフトウェア仮勘定	1,298	-
その他	64,969	70,580
無形固定資産合計	360,800	260,828
投資その他の資産		
投資有価証券	349,934	305,021
繰延税金資産	510,170	484,152
その他	779,268	737,387
貸倒引当金	△104,743	△109,635
投資その他の資産合計	1,534,629	1,416,925
固定資産合計	9,519,689	9,191,723
資産合計	20,468,243	20,796,044

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年5月31日)	当連結会計年度 (2022年5月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	742,827	982,717
電子記録債務	1,394,229	1,559,854
1年内返済予定の長期借入金	625,280	766,250
リース債務	4,047	3,778
未払金	539,999	312,561
未払法人税等	493,280	236,532
その他	802,403	570,458
流動負債合計	4,602,068	4,432,153
固定負債		
長期借入金	3,057,300	2,291,050
リース債務	12,025	8,246
退職給付に係る負債	1,371,424	1,406,477
繰延税金負債	17,972	19,365
その他	114,506	114,615
固定負債合計	4,573,229	3,839,754
負債合計	9,175,297	8,271,907
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	585,199	585,199
資本剰余金	595,337	595,337
利益剰余金	10,013,277	11,085,292
自己株式	△50,953	△51,201
株主資本合計	11,142,861	12,214,627
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	77,847	45,687
為替換算調整勘定	72,237	263,822
その他の包括利益累計額合計	150,085	309,509
純資産合計	11,292,946	12,524,137
負債純資産合計	20,468,243	20,796,044

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
売上高	18,436,868	17,792,438
売上原価	10,276,782	10,500,124
売上総利益	8,160,085	7,292,313
販売費及び一般管理費	5,711,195	5,466,970
営業利益	2,448,890	1,825,342
営業外収益		
受取利息	12,902	10,826
受取配当金	7,577	8,040
受取賃貸料	42,566	44,987
売電収入	8,675	8,534
その他	14,930	12,270
営業外収益合計	86,652	84,659
営業外費用		
支払利息	12,593	10,483
賃貸収入原価	24,771	28,825
売電原価	5,767	5,698
為替差損	12,386	4,260
貸倒引当金繰入額	11,887	4,119
その他	2,648	1,101
営業外費用合計	70,054	54,488
経常利益	2,465,488	1,855,513
特別利益		
受取保険料	1,788	-
固定資産売却益	-	8,866
その他	67	-
特別利益合計	1,855	8,866
特別損失		
固定資産除売却損	1,289	-
投資有価証券売却損	687	-
子会社株式評価損	-	55,625
減損損失	1,059,025	-
特別損失合計	1,061,002	55,625
税金等調整前当期純利益	1,406,341	1,808,754
法人税、住民税及び事業税	715,222	535,485
法人税等調整額	△6,130	41,859
法人税等合計	709,092	577,344
当期純利益	697,248	1,231,410
親会社株主に帰属する当期純利益	697,248	1,231,410

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
当期純利益	697,248	1,231,410
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	43,480	△32,159
為替換算調整勘定	145,773	191,584
その他の包括利益合計	189,254	159,424
包括利益	886,502	1,390,834
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	886,502	1,390,834
非支配株主に係る包括利益	—	—

## (3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自2020年6月1日 至2021年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	585,199	595,337	9,469,521	△50,953	10,599,104
当期変動額					
剰余金の配当			△153,492		△153,492
親会社株主に帰属する当期純利益			697,248		697,248
自己株式の取得					—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	543,756	—	543,756
当期末残高	585,199	595,337	10,013,277	△50,953	11,142,861

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	34,366	△73,535	△39,168	10,559,936
当期変動額				
剰余金の配当				△153,492
親会社株主に帰属する当期純利益				697,248
自己株式の取得				—
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	43,480	145,773	189,254	189,254
当期変動額合計	43,480	145,773	189,254	733,010
当期末残高	77,847	72,237	150,085	11,292,946

当連結会計年度(自2021年6月1日 至2022年5月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	585,199	595,337	10,013,277	△50,953	11,142,861
当期変動額					
剰余金の配当			△159,395		△159,395
親会社株主に帰属する当期純利益			1,231,410		1,231,410
自己株式の取得				△248	△248
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	—	1,072,014	△248	1,071,766
当期末残高	585,199	595,337	11,085,292	△51,201	12,214,627

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評 価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益 累計額合計	
当期首残高	77,847	72,237	150,085	11,292,946
当期変動額				
剰余金の配当				△159,395
親会社株主に帰属する当期純利益				1,231,410
自己株式の取得				△248
株主資本以外の項目の当期変動額 (純額)	△32,159	191,584	159,424	159,424
当期変動額合計	△32,159	191,584	159,424	1,231,191
当期末残高	45,687	263,822	309,509	12,524,137

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	1,406,341	1,808,754
減価償却費	634,353	617,135
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	32,951	35,052
貸倒引当金の増減額(△は減少)	5,038	5,683
長期前払費用の増減額(△は増加)	△122	△11,601
減損損失	1,059,025	-
受取利息及び受取配当金	△20,479	△18,866
支払利息	12,593	10,483
固定資産除売却損益(△は益)	1,289	△8,867
子会社株式評価損	-	55,625
為替差損益(△は益)	△2	△19
売上債権の増減額(△は増加)	312,577	△393,276
棚卸資産の増減額(△は増加)	24,986	110,592
その他の流動資産の増減額(△は増加)	61,640	△38,710
仕入債務の増減額(△は減少)	△276,640	403,116
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	29,181	△4,091
未払消費税等の増減額(△は減少)	172,584	△195,310
その他	△127,769	1,254
小計	3,327,547	2,376,955
利息及び配当金の受取額	20,479	18,866
利息の支払額	△12,839	△10,436
法人税等の支払額	△617,021	△798,501
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,718,166	1,586,884
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
有形固定資産の取得による支出	△755,873	△613,790
無形固定資産の取得による支出	△46,751	△28,865
有形固定資産の売却による収入	8,826	30,456
投資有価証券の取得による支出	△1,685	△1,695
投資有価証券の売却による収入	256,016	-
子会社株式の取得による支出	△518,961	△48,411
貸付けによる支出	△45,350	-
貸付金の回収による収入	900	31,010
その他	21,676	15,568
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,081,201	△615,725
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
長期借入れによる収入	2,500,000	-
長期借入金の返済による支出	△608,530	△625,280
配当金の支払額	△153,492	△159,395
リース債務の返済による支出	△10,601	△4,047
その他	-	△248
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,727,375	△788,971
現金及び現金同等物に係る換算差額	95,358	121,085
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	3,459,698	303,273
現金及び現金同等物の期首残高	2,294,148	5,753,847
現金及び現金同等物の期末残高	5,753,847	6,057,120

(5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

なお、収益認識に関する会計基準の適用指針第98項に定める代替的な取扱いを適用し、国内の商品又は製品の販売において、出荷時から当該商品の支配が顧客に移転される時までの期間が通常の間である場合には、出荷時に収益を認識しております。

顧客に支払われる対価について、従来は、販売費及び一般管理費として処理する方法によっておりましたが、取引価格から減額する方法に変更しております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っており、当連結会計年度の期首より前に新たな会計方針を遡及適用した場合の累積的影響額を、当連結会計年度の期首の利益剰余金に加減し、当該期首残高から新たな会計方針を適用しております。

ただし、収益認識会計基準第86項に定める方法を適用し、当連結会計年度の期首より前までに従前の取扱いに従ってほとんどすべての収益の額を認識した契約に、新たな会計方針を遡及適用していません。

この結果、当連結会計年度の売上高及び売上総利益は160百万円減少し、販売費及び一般管理費は160百万円減少しました。なお、営業利益、経常利益及び税金等調整前当期純利益に与える影響はありません。また、利益剰余金の当期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-2項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度について新たな表示方法により組替えを行っておりません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

(セグメント情報)

当社グループは、業務用の化成品事業を行っており、単一セグメントであるため、記載を省略しております。

## (1株当たり情報)

前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)		当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)	
1株当たり純資産額	1,912.90円	1株当たり純資産額	2,121.49円
1株当たり当期純利益	118.11円	1株当たり当期純利益	208.59円
なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載していません。		なお、潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、 潜在株式が存在しないため記載していません。	

## (注) 1株当たり当期純利益の算定上の基礎

	前連結会計年度 (自 2020年6月1日 至 2021年5月31日)	当連結会計年度 (自 2021年6月1日 至 2022年5月31日)
1株当たり当期純利益		
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	697,248	1,231,410
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期 純利益(千円)	697,248	1,231,410
普通株式の期中平均株式数(株)	5,903,566	5,903,514

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。